

経営比較分析表（令和6年度決算）

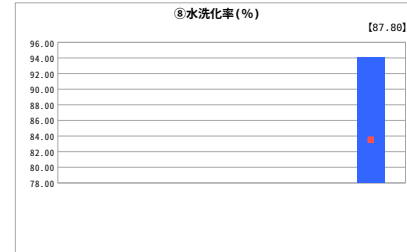
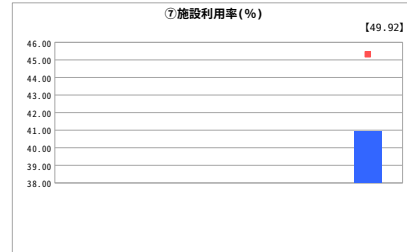
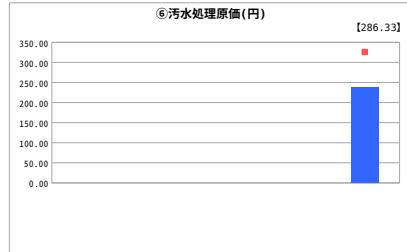
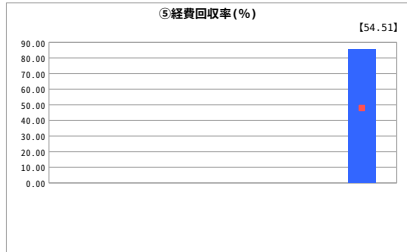
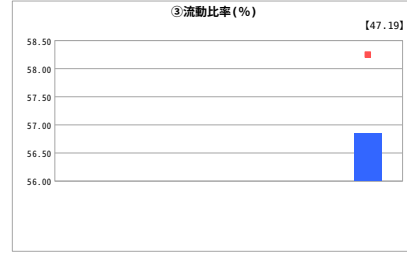
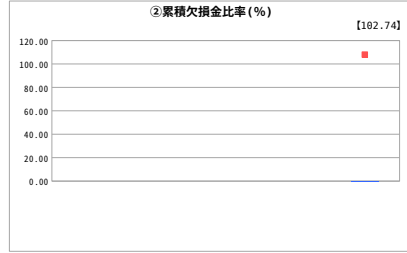
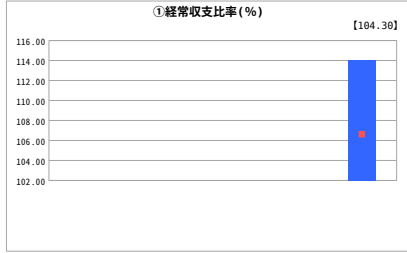
山形県 高島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	90.41	3.52	94.93	4,290

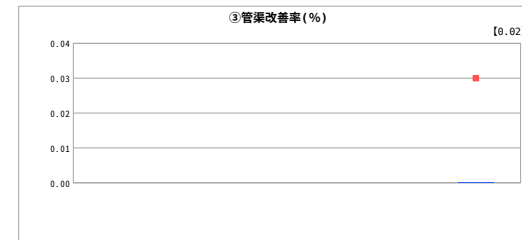
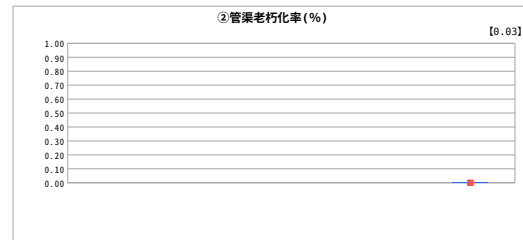
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,306	180.26	118.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
745	0.76	980.26

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は基準を上回り、経常的な収支構造としては一定の健全性が保たれています。
 ② 企業会計へ移行した直後であることから、従前の内部留保を前提とした資金構造の影響を受け、類似団体平均を下回っていますが、現時点で資金不足は発生しておらず、短期的な支払能力に直ちに問題が生じる状況ではありません。
 ③ 低い水準にあり、他団体と比較しても借入金負担は相対的に軽く、今後の施設更新需要に対応する一定の余地を有しています。今後は、経費削減の取組とともに、持続可能な事業運営に向けた使用料水準のあり方についても検討を進めていきます。
 ④ 100%を下回っており、本来使用料で賄うべき経費について、使用料収入のみでは十分に回収できていない状況にあります。
 ⑤ 類似団体平均を下回っており、一定のコスト抑制が図られているものの、引き続き運転管理方法の見直し等により処理原価の維持・低減に努めていきます。
 ⑥ 類似団体平均を下回っており、施設能力に余力がある状況です。このため、処理量の実態を踏まえた運転管理の見直しや、維持管理手法の効率化を今後も継続していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体平均と比べて高い水準にあり、処理場を中心とした施設資産の老朽化が着実に進行している状況です。(※法適用移行時の資産評価方法の違いにより、類似団体平均に比べて高い値となっています。) 事業開始から相当の年数が経過していることから、今後、機能低下や故障リスクの増加が懸念されます。
 ② 現時点において法定耐用年数を超過した管渠は限定的であり、管路全体としては比較的健全な状況が保たれています。
 ③ 将来的な老朽化の進行を見据え、現場調査や点検結果に基づく計画的な対応に努めます。今後は、処理場内の機械・電気設備の計画的な更新を着実に進めるとともに、管路についても予防保全の考え方を取り入れつつ、長寿命化を図っていきます。

全体総括

本事業は、令和6年度から地方公営企業法の全部適用へ移行したことにより、企業会計方式による経営状況の把握が可能となり、費用構造や資産状況を含めた経営管理の透明性が高まりました。経費回収率が目安を下回っていることから、使用料収入のみで経費を賄い切れていない点が課題となっています。人口減少の進行により、今後の使用料収入の増加が見込みにくい一方で、施設の老朽化は着実に進んでおり、将来的な更新需要への対応が必要となります。今後は、経費削減と効率化の取組を継続するとともに、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な事業運営のために計画的な財政運営に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。